

河川氾濫(洪水)・土砂災害

大雨などにより、河川の水量の増加や地中にしみこんだ水分などが原因となり、大きな災害に発展する場合があります。事前にその災害のメカニズムを理解し、身近に起こりうる災害に対応しましょう。

河川氾濫(洪水)

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、河川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、下水道や都市下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が河川に集まり、河川の水かさが増し堤防を越える、あるいは堤防を決壊させて河川の水が外にあふれて起きる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すので、最大の注意が必要。



内水氾濫

台風や集中豪雨などにより、下水道の排除能力を超える雨が降ったり、雨水の排水先の河川の水位が高くなった時等に道路側溝や水路から道路や宅地などに溢れたりする時に発生する洪水。



緊急放流 (異常洪水時防災操作)

概要

大雨などによりダムが満水に近づいたときに、ダムの流入量とダムからの放流量を同程度となるよう調整していき、満水になったら流入量をそのまま下流側に通過させること。

求められる行動

緊急放流によりダムからの放流量を調整すると、ダムの下流の河川で水量が増えて氾濫するおそれがあります。ダム下流の地域にいる人は、緊急放流が開始される前に、自治体からの避難情報を確認し、適切な避難行動をとってください。

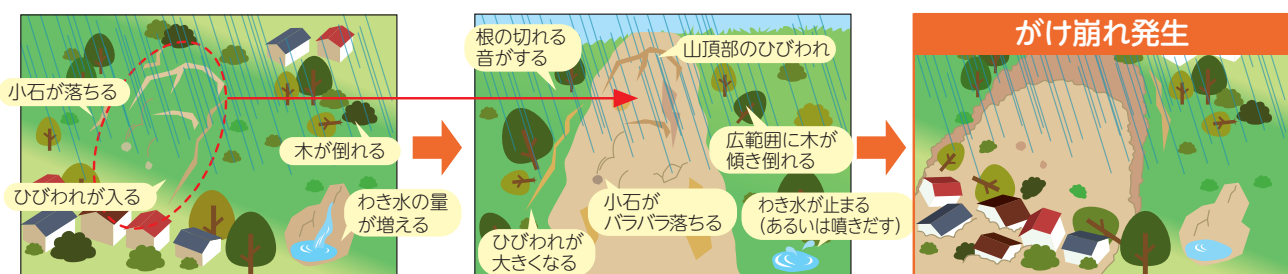


土砂災害

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、普段と異なる状況「土砂災害の前兆」に気づいた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難しましょう。また、日ごろから危険箇所や避難所・避難場所・避難経路を確認しておくことも重要です。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいので、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。